

〔新入社員の声〕

新入社員の声

岡 山 桂一朗（日本農産工業(株)畜産技術センター）

All about SWINE 54, 27

いつも情報収集の手段として、本会誌（AAS）を拝読させていただいております。私は入社5年目ですが、タイトルが新入社員の声ということで、当時のことを思い出しながら書かせていただきます。

弊社は新入社員に1ヶ月程度の農場研修をさせており、実際に豚舎管理などを学ぶ機会があります。私が入社した2014年は日本国内で豚流行性下痢（PED）の発生が報告され、全国的に防疫体制が強化されている頃でした。私は学生時代に養豚はおろか畜産にも関わったことがなく、防疫の知識もなかったことから、研修中の不要な外出の禁止などの特別措置がされたときは、「養豚業

界における病気の脅威および防疫の重要性と難しさ」を思い知らされ、強い衝撃を受けたことを今でもよく覚えております。2018年には、国内で豚コレラが発生し、この原稿を書いている2019年1月現在も事態は終息しておりません。私の仕事は養豚飼料の設計を考えることが主ですが、発生が報告されている中部地区には面識のある生産者様も複数おり、その方々の不安なお気持ちを考えると心が痛みます。一消費者として、おいしくて安全な国産豚肉が日々当たり前店頭並んでいることに感謝しつつ、養豚に関わる一社会人として、そのために自分に何ができるのかを考えていきたいと思います。